



水稲用除草剤 登録番号 第 20937 号

ネビロス-ラジカルジャンボ

(カフェンストロール・シクロスルフアムロン・ダイムロン粒剤)

有効成分	カフェンストロール 15.0% シクロスルフアムロン 3.0% ダイムロン 30.0%
性 状	類白色細粒 水溶性パック入り 1パック20g
毒 性	普通物
有効年限	3 年
包 装 (1ケース)	(20g×10パック)×20袋／ケース
化管法	カフェンストロール (1種) 15.0% シクロスルフアムロン (2種) 3.0%

特長

1. 投げ入れるだけの簡単散布
2. パツと広がるターボ拡散
3. 50～60日効果が持続
4. 高い土壌吸着で効果安定

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植 水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ （北海道を除く） ヘラオモダカ （北海道、九州） クログワイ （北海道、北陸を除く） オモダカ ヒルムシロ セリ（北海道） アオミドロ・藻類による表層はく離 （北陸を除く）	移植後3日～ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～埴土	小包装（パック）10個（200g）/10a	1回	水田に小包装（パック）のまま投げ入れる	全域の普通期及び早期栽培地帯

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内 （育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内）

使用上の注意

1. 必要量を購入し、出来るだけ残すことなく使いきってください。
2. パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業しないでください。
3. 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失ないように散布してください。
4. 雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布してください。各雑草の散布適期は以下のとおりです。
 - ・ホタルイ、ミズガヤツリ2葉期まで
 - ・ウリカワ／2葉期まで（東北、北陸、関東・東山・東海、九州は、発生始期まで）
 - ・ヘラオモダカ／発生始期まで（九州は、発生前まで）
 - ・ヒルムシロ／発生期まで
 - ・セリ／再生前から始期
 - ・クログワイ、オモダカ、アオミドロ・藻類による表層はく離／発生前
5. クログワイ、オモダカの防除に当たっては、必要に応じて有効な剤と組み合わせて使用してください。
6. 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行なってください。未熟有機物を施用した場合は特に代かきをていねいに行ってください。
7. 10アール当り10個の割合で水田に小包装のまま投下してください。
8. 散布に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水条件で投下し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
9. 藻類や表層剥離等の多発している水田では、拡散が不十分となり効果が劣る可能性があるので使用をさけてください。
10. 散布直後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
11. 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm／日以上）
 - ② 軟弱な苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
12. 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は、認められません。
13. 本剤はその殺草特性から いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
14. いぐさ栽培予定水田では、使用しないでください。

15. 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
16. 水溶性フィルム包装が破袋した場合には以下の点に注意してください。
 - ① 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ② 皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - ③ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
17. 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
18. 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
19. 散布後は水管理に注意してください。
20. 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

貯蔵上の注意

1. 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥し子供の手の届かない場所に密封して保管してください。
2. 吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。